

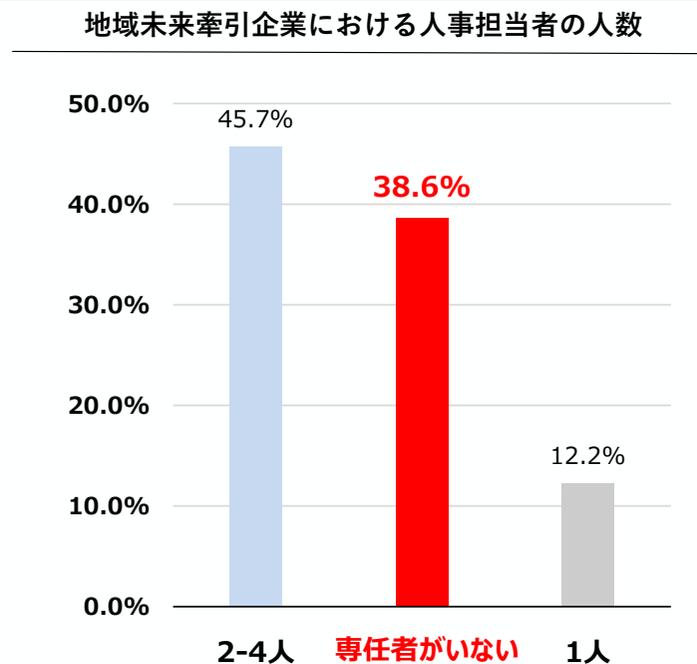
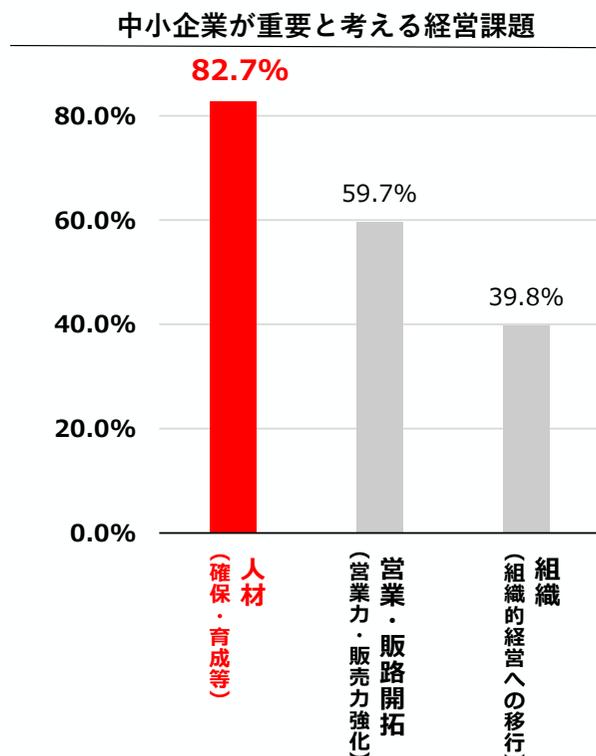
# 地域の人事部について

2025年1月

経済産業政策局 地域経済産業政策課

# 地域における中小企業をとりまく現状

- 中小企業が重要と考える経営課題として、「人材（確保・育成等）」（82.7%）が最も多い。
- 他方で、地域の中核企業候補（地域未来牽引企業）においても、約4割が専任の人事・採用担当者が不在であり、人材確保やその後の人材育成等が十分に出来ていない状況。



注：（左図）株式会社帝国データバンクの保有する企業情報データベースから抽出した、2020年度の決算書収録があり、従業員数5人以上の中小企業を対象としたアンケート調査（有効回答数：4,300社）。「貴社の直面する経営課題のうち重要と考えるものについて、お聞かせください。」に対する回答のうち、上位3項目を抜粋。

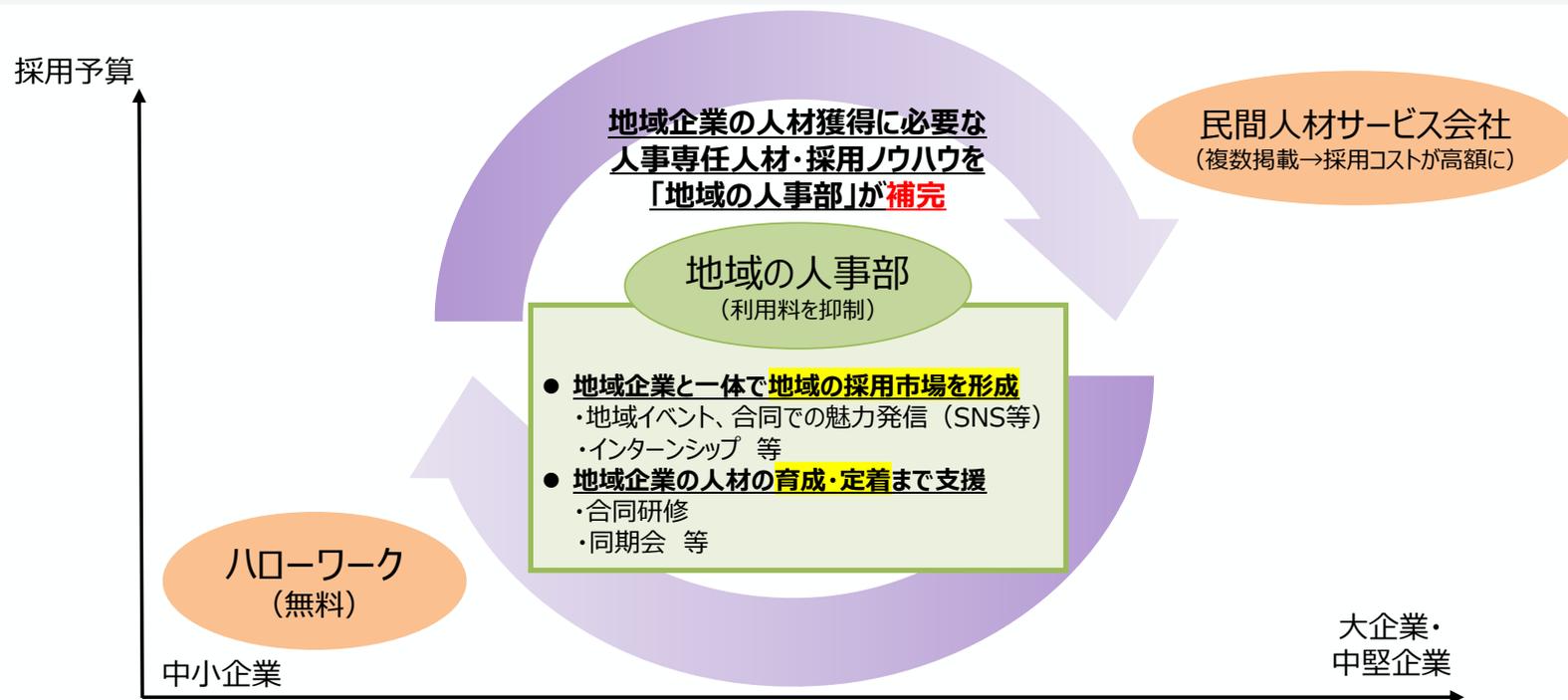
（右図）地域未来牽引企業を対象としたアンケート調査（有効回答数：1,199社）。「貴社の人事・採用業務の担当者の人数について、当てはまるものを一つ選択してください。」に対する回答のうち、4人以下のものを抜粋。

出典先：（左図）株式会社帝国データバンク「中小企業の経営力及び組織に関する調査研究報告書（2022年3月）」（調査期間2021年11月～12月）を基に作成。

（右図）経済産業省「令和元年度 大企業人材等の地方活躍推進事業（地域の中核企業による人材確保手法等の調査分析）」（調査期間2021年7月22日～8月6日）を基に作成。

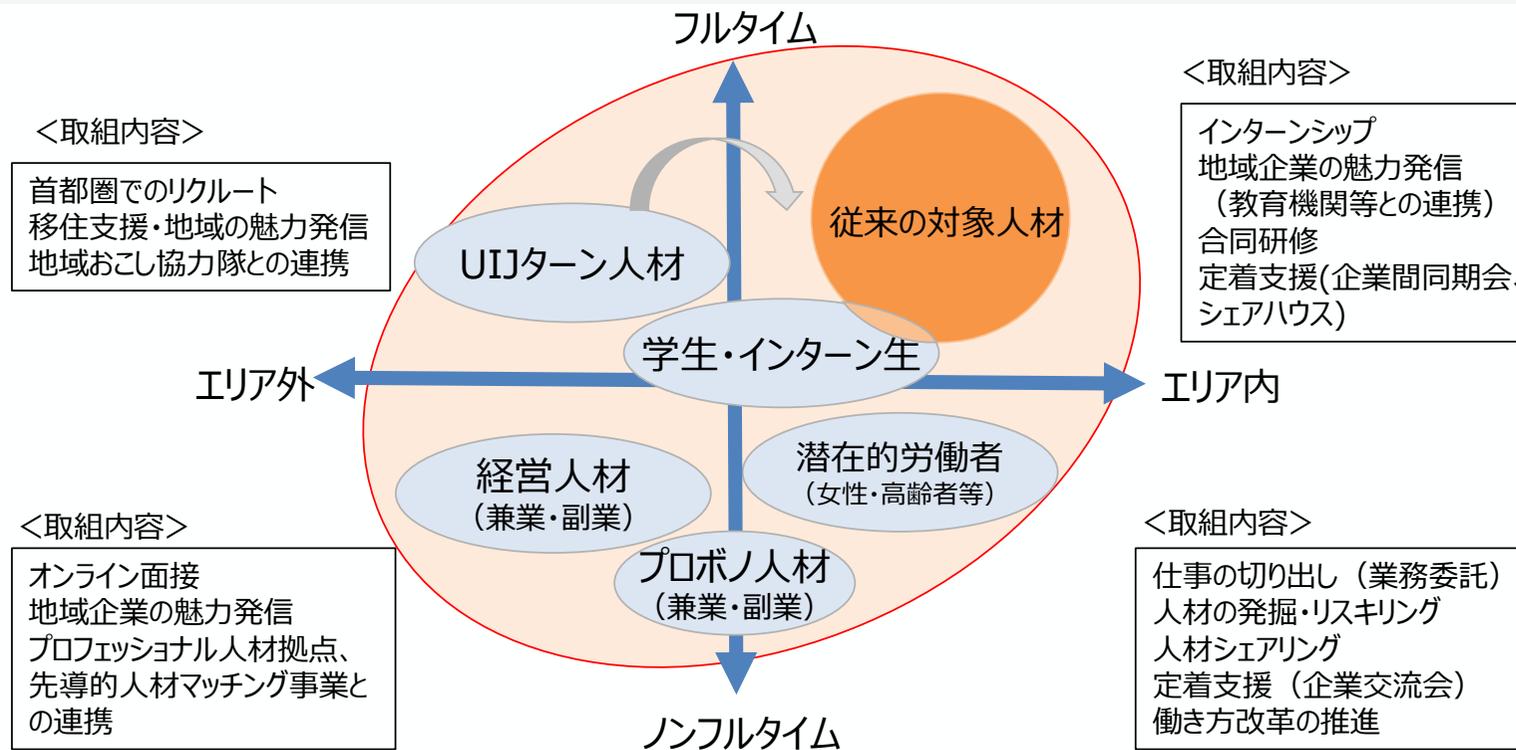
# 「地域の人事部」の機能①：採用コストの抑制、人事ノウハウの補完

- 多くの中小企業は、**予算・人材リソース等の制約**から、求人広告費のかからないハローワークを利用。
- 民間人材サービスを利用している地域未来牽引企業からは「賃上げや求人サイト・SNSで発信等をしているが、首都圏の大手有名企業へ流れてしまう」「若手を採用してもすぐ離職してしまう」等の声。「**地域の人事部**」が**地域企業の魅力を発信し、面を取り組むことで、採用コストを抑制し、地域企業の人材育成・定着まで支援**することが重要。



## 「地域の人事部」の機能②：地域で活躍する人材母集団の拡大

- 地域に必要な人材確保・育成・定着には、働き手に対する柔軟性を高めることで、地域において活用できる人材母集団を広げることが重要。
- 地域の人事部は、地域企業の人材課題に応じて、①学生・インターン生、②UIターン人材、③兼業・副業人材、④潜在的労働者といった、多様な人材を対象としている。



# 「地域の人事部」の意義

- 地域の人事部は**地域の関係機関が一体となって取り組むことで限られたリソースを集約・活用**するのが特徴。
- 地域の人事部が機能・ハブ化することにより、**地域企業の魅力発信や採用・育成力・経営力の向上、若者や域内外の人材が活躍・成長する機会の創出、地域経済の活性化や関係人口の創出等**が期待。



## 地域の人事部において期待される価値

